

協立病院の理念

人権と人格を尊重した、
こころとからだの総合診
療とケアを実践する

協立病院だより

No.88 2022年10・11月号

発行：みさと協立病院

〒341-0016 埼玉県三郷市田中新田273-1
TEL 048 (959) 1811/FAX 048 (959) 1819
<http://www.tokyo-kinikai.com/misato/>

『介護する人、受ける人がともに大切にされる制度へ』

～介護保険制度改正について考える～

みさと協立病院 介護部長 樋口 直樹

2000年に介護保険制度が施行され22年が経過しました。しかし、度重なる制度改悪により介護保険制度の根幹が揺るがされ、いわゆる『介護難民』と呼ばれる介護を必要としている利用者が様々な理由で必要な介護サービスを利用できない実態も広がっております。家族介護を理由とした介護離職も高止まりとなり、介護事業所では深刻な人手不足と、低い介護報酬の下で経営難が続いております。介護事業所は、地域ニーズに応えたくても人手不足によりサービスを提供できない、また、経営人材難により閉鎖や休止に追い込まれる事業所も増えており、コロナ禍はこうした実態を一層加速させています。



通所リハビリテーションの夏祭りの様子

日本政府は、2023年通常国会にむけて介護保険制度見直しの検討を進めています。介護保険利用料の2割、3割負担の対象拡大、要介護1、2の生活援助等サービス削減、

ケアプラン作成にかかわる自己負担の導入、補助杖などの福祉用具貸与で利用できていたものを購入に切り替えるなど、利用料の負担増と、給付削減の提案が目白押しです。利用

者と事業者双方にさらなる矛盾、困難を押し付ける事態が予測されます。私たちが加盟する全日本民医連では「介護する人、受ける人がともに大切にされる制度へ」の実現のもと

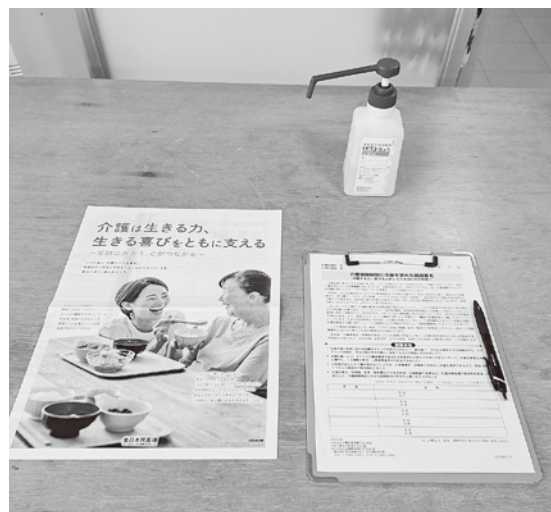
4つの請願項目を掲げ介護保険制度の改善を求める請願署名を実施しております。病院1階署名スペースにも設置しておりますので、是非、ご支持、ご協力を賜れば幸いです。

本来、社会保障とは、病気やけが、老化、障害等の生活上の困難について、貧困を予防し、困窮者を救い、生活を安定させるために、国が所得移転によって所得を保障することです。社会保障は、国の責任で、国が税金を使い、国民の人権を保障することが当然で、いわゆる自己責任論を誘発するような自助互助、共助、公助といった考えは、本来の社会保障から逸脱していると感じます。



居宅介護支援事業所

我々は、今後も政府に安心して医療や介護を受けたという国民の願いを実現する社会保障の充実をこれからも強く求めていきます。医療や介護等でお困りのことがございましたら、どうぞ遠慮なくお申し出下さい。患者様、ご利用者の皆様、引き続きご支援、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



介護保険制度の改善を求める請願書名

友の会だより

編集 みさと協立友の会

048-959-1811 No.88

ちよつと
いい話

15

孤島青ヶ島に 共産党兄弟議員がいた

この夏、NHKで「絶海の孤島 青ヶ島」を放映していた。懐かしくて涙が出た。

「天候が荒れば船が10日以上来ないことも」「1960年約300人↓2022年167人」「唯一の商店」。そんなフリップも流れた。

49年前の1973年秋、島に誕生した20代の日本共産党の菊池正、伴夫兄弟議員を訪ねた。私も20代の「赤旗」駆け出し記者だった。

強風が吹いて船は出ず八丈島に2日足止め。やつと出港。船は海路360キロを4時間かけて走った。乗船客は6人。生活物資、ニワトリも積み込まれていた。

番組の映し出す島の風景は一変していた。それでも港やただ一軒の店、小学校には見覚えがあった。

兄弟議員の家で両親にも歓待していただき、2人の当選までも道の

りやその後の議員活動をしつくり聞いた。

数年前までは若者のUターンは皆無、教員を除いて若者はたつた二人だったという。

島にはこれといった産業もなく、道路建設などが唯一の生計の道だった。「水は天からのもらい水」で雨水を利用。各家に大きな水タンクが取り付けられていた。

夜、風呂を勧められた。湯がもつたいたなくて熱くとも埋めることができなかった。空には降って来そうな無数の星々、海から渡ってくる涼しい風。別天地だった。

兄弟はその過疎の島の産業開発、村再建へ希望に燃えていた。青年団も知恵を出し、惜しみなく協力してくれていた。

島の住民、村長にも取材した。どこでも人柄の優れた兄弟議員への期待は大きかった。孤島の新しい、さわ

やかな、「共産党旋風」を実感した。

そして、どんなところにも共産党が存在しているとの素晴らしいと凄さに感動した。

その後何年かして弟の伴夫さんが、海で溺れかかった子供を助け命を落としたと聞いた。

長髪とあごひげ、細身の彼の姿を思い浮かべ心から冥福を祈った。今年は日本共産党創立100周年。伴夫さんも100年史を刻んだ一人として讃えられるだろう。

49年前に私の書いた「赤旗」紙面（1973年9月2日付）は、活字も小さく読みにくく、黄ばんでボロボロになった。

だが、あの時の感動をいつまでも忘れまいと思う。

（玄間太郎）



第百三十九回 友の会【川柳の会】

題 「想・思」

・ 折り鶴で世界を翔ける禎子さん

信子

・ 平和への思いをこめた我が一票

裕之

・ 思い出も良薬と知りホツとする

寿美

・ 初給料辞典を買った十五歳

智子

・ 思い出は何が一番言われても

キエ

・ 難民の思いは故郷にの親兄弟

たけどん

・ この思いみんなに届く日きつとある

良子

*次回 お題「本」（読書も可）

* 物価上昇に見合った 年金引き上げを

* 川柳作ってみませんか *

お問合せ：みさと協立友の会
公文（090-6118-0560）まで連絡を

会費納入にご協力ください（ゆうちょ銀行）
口座番号 00510-4 記号番号 44659
みさと協立病院友の会 中川 一秀

サークルのお申し込み、お問い合わせは友の会事務局 048-959-1811 藤元、萩原まで

新鮮野菜

農業・園芸班

当面休止

毎月1回（第2木曜日）
午前10時～12時30分
会員が育てた季節の野菜を販売しますので、是非お出かけください。
（販売する方も、募集しております）



懐かしのメロディー

カウオケ班

当面休止

毎月1回（第3水曜日）
午後1時30分～4時30分



笑いの玉手箱

川柳の会

毎月第4木曜日

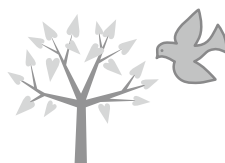
午後1時30分～3時30分

課題作品 3句
自由作品 3句
を持ち寄って、内容を吟味します。
投稿だけでも歓迎です。

ボランティア活動者の交流

ボランティア班

3ヶ月に1度程度の割合で、ボランティア活動者の交流会を行い、活動の交流や学習を行いたいと思います。



ちよつと出かけて
みませんか？

小さな旅の会

3ヶ月に1回くらい
出掛けます。

費用は行き先で決まります。

